

留萌支部の活動報告と今後の展望

留萌支部長 近江谷 尚 紀

歯科国保の留萌支部長に就任し3年が経ち、いろいろな経験をさせていただきました。

特に就任当初には留萌には市立病院がありながら、人間ドックの受診者が無く、指定医療機関としての契約解除の申し出があり、決定せざるを得ませんでした。これは中間の地方都市としての問題として捉えるべきか、またそれ以外の問題なのか、非常に悩み、他の支部長にも相談させて頂いた次第です。

次に、前年度の集団検診は、その前に比べますと微増に終わり、更なる増加を行うためには、どのようにするべきか、また、保健事業に関しましても、参加者が非常に少なく、開催できない状況に追い込まれました。この二点に関して今後どうすべきか、いささか頭を悩ませている状況です。この点に関しましては、他の支部も同様の状況と聞いております。そこで今後さらに各支部同士の連携を密にし、集団検診並びに保健事業における参加者の増加を目指すため、連絡を密にし、対応していきたいと考えております。富野理事長就任後のできうる限りのご努力に関しまして、感謝し、今後の運営を行っていただきたいと思います。

美唄支部より

美唄支部長 孫 泰 一

もう4年前になりますが、当医院で長く勤務していた若い先生が開業して間もなく亡くなりました。肝炎からの癌でした。お酒を飲めない体質でした。九州の著名な先生に師事し、その間は奥様がコンビニで生計を立てていたという、勉強家の先生でした。

登山が好きで、岩壁にぶら下がって一泊するような、エキスパートのような男でした。

聞くと昔C型肝炎を発症した既歴があり、その再発によるものとのことでした。

私も留学時代にA型肝炎にかかり入院した経験があります。臆病者の私は、その後ほぼ毎年肝炎の検査を受け、C型肝炎のワクチンが出来た時には真っ先に受けました。

彼も、もう少し私の様に臆病で、身体に気を付け、肝炎の検査を受けていればと今でも悔やまれます。

ご存知の様に、歯科医師国保では、年に1度ほぼ無料で人間ドックを受診出来ます。僅かの追加料金で肝炎の抗原抗体や、前立腺癌のPSA検査も受けられます。前立腺癌は血液検査だけで80%程の確率で発見できる数少ない癌の一つです。

私はこの人間ドックを1年おきに受けています。毎年受けない理由は被曝量です。この歳で初心者ながら登山を趣味にしている私は、少なからずレントゲンを照射される可能性が若い人より多いと高いと考えています。またデンタルを撮るのが難しい患者さんのCCDを保持するのも若いスタッフではなく私の役割です。

人間ドックの受診率の話が出ると、私はいつも彼を思い出し、若い先生の受診率が上がればと思います。